

## 株式会社三好鉄工所〈新居浜市〉

事業内容 プラント建設工事、産業用機械器具の設計・製作・据付など  
 従業員数 251名 [内訳] 男性224名、女性27名 (R5.5現在)  
 企業HP <http://miyoshi.gr.jp/>



## 取組のポイント

- 取得対象者へ個別面談を実施し制度概要の説明に加え、「取得期間中の収入」と「仕事の引継ぎ」に関する2つの不安を解消するためのフォローを実施。



## 取組の背景

三好鉄工所は経営理念として“当社に関わるすべての人の幸せを通じて社会に貢献する”ことを掲げています。この「すべての人」には社員とその家族も含まれており、男性社員が多数を占める企業として男性育休の取得促進は取り組むべき事として捉えていましたが、取得が当たり前の組織風土には至っていませんでした。そのような中で、令和2年に男性社員の配偶者の方から取得についての問い合わせがあり、制度周知などの課題が浮き彫りになりました。ちょうど当時は新型コロナウイルスへの不安が広がっており、育児や出産への不安も大きいだろうと考え本格的に男性育休の取得促進に取り組むことになりました。

## 具体的な取組内容

## まずは、周知徹底！取得対象者の個別面談により意識改革

- 人手不足で忙しく、前例のない男性育休には関心のない社員が殆どでしたので、個別面談で制度について丁寧に説明する機会を設けました。この面談では制度の説明だけでなく、①育休取得期間中の収入面(育児休業手当額、社会保険料の免除などの計算)を分かりやすく示し、②担当業務の状況により直属の上長にも同席してもらい引継ぎなどの確認も行い、取得に関する不安の解消に努めました。また、配偶者の方への案内も重要と考え、資料を配布し家族で相談していただき問い合わせにも随時対応することになりました。
- 担当業務の繁忙期と重なってしまう場合は、調整を行い、取得時期や期間について本人の意向を尊重し、またカバーする社員の負担も軽減を図ることで、本人も安心して休めるようになり育児に専念できる環境ができました。また職場が人手不足の中でも気持ちよく送り出せることで、今後の新たな取得者が遠慮せず休める雰囲気が高めることもできています。

## 育児を自分のこととして捉える“育児計画書”の配布

- もっと育児を自分のこととして捉え、有意義な育休にすることが今後の取得者を増やすことに繋がると考え、取得前から取得期間中、職場復帰までの育児計画書や家事・育児の分担表を配布しました。育休について具体的に考えていなかった社員は出生届から検診なども含め育児に関する様々なことがイメージできるようになったようです。

## ＜ 育休取得促進のポイント ＞

会社のトップから  
男性育休取得に関する宣言発信

総務部による取得対象者の  
個別面談で制度説明

上長を交えた面談、  
家族に向けた制度説明などで  
取得環境を整える

本人の意向を踏まえ取得時期・期間を調整し、  
業務状況がいつでも確認できる  
ツールを支給

育休開始

1カ月後に職場復帰



## 取組の効果

- 令和5年度の取得実績は100%を達成し、1カ月以上の取得者も累計で14名となり男性育休が定着
- お互いに気づき合う風土が育ち、明るく活気のある職場は若手社員の定着にも繋がる



## 推進リーダーの声



総務部 主任技師  
岩崎 誉彦さん

会社のトップが男性育休取得は会社として取り組むべきこととして発信していることは非常に大きく、収入や担当業務の不安を丁寧に解消することが成果に繋がりました。今後は「有意義な育休」となるように育児計画策定支援や取得事例を積極的に発信したいです。

## 従業員の声



第二工事部  
工事監督  
幾島 佳則さん

配偶者からの後押しもあり育休を取得しました。監督という立場でしたが安心して休めるように会社が業務の進捗をいつでも自宅から確認できるよう環境を整えてくれました。実際には職場メンバーのフォローもあり育児に専念でき感謝しています。

# 育休体験者にインタビュー

(「令和5年度 男性育休取得促進セミナー」より)



## Q1 育休を取得したきっかけや決め手は？

弊社の社長が、男性育休について新聞のインタビューで「男性の育休取得は会社としてはやらなければならない」と宣言していて、それを妻が見つけたのがきっかけです。

収入面や仕事について不安が多かったのですが、会社側から細かく丁寧に説明してくれて、「これなら取れる！」と思い取得を決意しました。



「トップからの宣言や、会社からの丁寧な説明で育休に関する不安が解消されたのが大きなポイントですね」

## Q2 仕事に関する不安はどのように解消されましたか？

立場上私しか知らない業務もあり、どのように引き継ごうか会社側に相談したら、育休中でも緊急時に自宅で業務状況が確認できるように環境を整えてくれました。結果、出勤することはないと安心して育児に専念できました。

また、繁忙期を避けて育休を取らせてもらったので、それもよかったですと思います。



「会社が本人の意思を尊重し、柔軟に対応してくれたことで安心して休めるようになったのですね」

## Q3 実際育休中に職場から相談ごとなどはありましたか？

それが案外なくて… (笑)。結構スムーズに現場のほうを回してもらっていたみたいで、私がいなくても大丈夫でした(笑)。

私が抜けても他の人たちがカバーしてくれていて、職場に復帰してからもすんなり業務が進んでいるなあと感じました。そのような雰囲気を仲間たちが作ってくれたことに感謝しています。



「周りがしっかりサポートして育休に専念できるようにしていたのですね」

## Q4 育休中の生活はどうでしたか？

妻が今まで一人でやってきたことの大変さをあらためて実感しました。育休中は子どもの世話だけでなく、家事全般も積極的に行いました。

そうした中で、子どもの成長を間近で見ることができて、より育児・育休の良さを感じました。初めてのつかり立ちを見ることができたのも嬉しかったです。



「子どもへの愛情が育休を経験してより深いものになり、子育てへの意識も必然的に高まったようですね」

## Q5 職場復帰後の生活リズムはどうですか？

育休前は結構残業していたのですが、育休後は早く家に帰ろうと時間を工夫するようになりました。ここで残業しなくても他の業務の間でしていけばいいじゃないかという気づきがありました。

また家庭では、育休中の経験のおかげで、妻と協力して子育てすることができています。



「育休を通じて自身の働き方を見直し、仕事と家庭の両立ができるようになり、家族にとってもプラスになったようですね」



育休中の様子



「男性育休取得促進セミナー」での体験談発表

